

地域づくり協議会だより

〈編集・発行〉市場地区地域づくり協議会 〒675-1327 小野市市場町 53 TEL・FAX 0794-62-2454 <http://www.itiba.org>

市場地区
地域づくり協議会
会長あいさつ

日増しに春らしくなってまいりましたが、市場地区の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、地域づくり協議会事業の推進に、ご支援とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。さて、平成29年度の協議会は、新たに公募委員2名の方に参画いただき、総勢66名で事業運営にあたることができました。

そこで、本年度の事業を振り返りますと、市場地区最大のイベント「いちばふれあいの祭典」は、10月28日（土）と29日（日）に開催いたしました。両日も雨に見舞われた祭典となりました。

屋内での作品展示は予定どおり行ったものの、屋外での舞台発表や移動動物園は中止となり、模擬店は規模を縮小して実施いたしました。また、ラストプログラムの「お楽しみ抽選会」では、幸い小雨となり、多くの来場者でのにぎわいに、役員一同笑みがこぼれた場面もありました。

雨であっても楽しみに来ていただいた方々、そして、雨で生まれたスタッフや各種団体との絆で開催できた祭典であったことを痛感し、心から感謝申し上げます。

暑い8月に実施した「地域交流三世代グラウンドゴルフ大会」は、200人を超える参加者で地域住民の親睦と交流を図ることができました。

春と秋に開催したハミングウェイウォーキングは、山田川沿いの四季を楽しみながら健康づくりにチャレンジしていただき、「いちば自然環境保全隊」との連携で行った“水辺コンサート”、FURUSATO美食クラブのラーメンの提供、そして地元野菜の即売はとても好評でした。

第40回「小野まつり」では、協議会等の有志による踊りの背景に、山田川に魚が飛び跳ねる光景を描くとともに、化粧をした4名のパフォーマンスは、「市民夏の夢舞台」に“いちばらしさ”が表現できたのではないかと思います。

これらの事業のほか、子どもたちの安全を確保するため「飛び出し注意看板」を10基新設するなど、皆様のご協力により、多くの事業を実施することができました。ありがとうございました。

これからも市場地区地域づくり協議会は、新たな事業にチャレンジし、多くの皆様にご参加いただける企画運営をめざしてまいります。そして、地域住民が「市場地区に住んでよかった」と思える地域づくりをめざし、力いっぱい頑張ってまいりますので、皆様方のご支援ならびにご協力をお願いいたします。

市場地区地域づくり協議会会長

祭内 隆浩

県民まちなみ緑化事業にチャレンジ

小野市の玄関口でもある国道175号から二葉町に上がる側道周辺は、草が生い茂り、美観を損なうような状況にあることから、市場地区地域づくり協議会では、地域の課題と捉え、小野市と連携して『平成30年度県民まちなみ緑化事業』の事業採択をめざし整備計画を進めてまいります。

この事業は、市場地区の自治会や各種団体等の意見を集約した「市場地区活性化計画書」に記載された多くの事業の中で、最初に取り組む事業になります。

皆さんとともに“きれいなまちづくり”をめざしましょう。



三木市

いちばふれあいの祭典

市場地区最大のイベント「いちばふれあいの祭典」は、雨に見舞われ、作品展示は予定通り行ったものの舞台発表と移動動物園は中止となり、模擬店は規模を縮小して実施しました。

最後のプログラムの「お楽しみ抽選会」は、幸い少雨となり多くの来場者でにぎわいました。

「かかし祭り」は、25団体等から35体の「かかし」の出展があり、祭典会場に賑わいを見せてくれました。

(10月28日・29日開催)



地域美化・花づくり

市から春と秋に花苗の提供を受け、協議会役員はもちろんのこと、老人クラブ、地域元気アップ活動団体等との協働で、神鉄市場駅、神鉄樺山駅、コミセンいちばの花壇やプランターに花苗の植栽を行いました。

(5月21日・11月18日開催)



いちば広報・企画

協議会の事業計画や活動状況を「協議会だより（V O 1.3 4・3 5）」・「コミセンだより」・「ホームページ」で情報提供をいたしました。

<http://www.itiba.org>

昨年度で好古館による市場地区の歴史調査は終了しましたが、継続して地域の歴史を知ることが大切なことから、「伊能忠敬の生き方に学ぶ」という演題で高塚洋先生による歴史講演会を開催しました。

(9月16日開催)



市場地区地域交流三世代グラウンドゴルフ大会

本年度は、19チーム約200名が大会に参加し、地域の世代間交流と親睦を深めることができました。

参加した子どもたちにとっては、夏休みの楽しい思い出になりました。

(8月26日開催)



安全・安心

通学路の危険箇所の再点検を部会開催時に行いました。(5月25日・9月22日開催)

小野警察署に県道349号線(大島町内)の信号機設置要望を行いました。

また、9月に開催した部会には、小野警察署から「不審者から子どもを守る地域活動」について学習しました。

子どもたちの安全確保を行うため、飛び出し注意看板を10基設置しました。

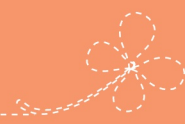


小野ハミングウェイウォーキング

田園風景を満喫しながらのウォーキング(12km・8km)を春と秋の2回実施いたしました。恒例の記念タオルのプレゼントとウォーキング後に食べた「ふくほの香ラーメン」は好評で、参加者相互の交流を深めることができました。(5月28日・11月23日開催)

特に秋のウォーキングは、「いちば自然環境保全隊」と連携して「水辺コンサート」を同時開催することができ、山田町の野菜の即売会も好評でした。





市場地区独居高齢者等昼食提供支援事業

昨年度から市場地区の独居高齢者（約30人）を招いて昼食会を年間3回、コミセンいちばで開催しています。

この活動は、独居高齢者の悩み事などが気楽に話せる機会にしようとして市場地区民生児童委員と市場地区地域づくり協議会支援団体FURUSATO“美食クラブ”が連携して行ったものです。

民生児童委員は、独居高齢者の送迎、そして、“FURUSATO美食クラブ”は、手づくり料理の提供を行い、会話がはずむにこやかな昼食会となりました。

昼食後は、楽器演奏を聴いて歌を一緒に歌ったり、腹話術に笑ったり、楽しいひと時を過ごすことができました。



にこやかな昼食会場



移動販売車連絡協議会

小野市で初めての試みとして市場地区で実施した移動販売車「みんなの井戸端ステーションぐるっといちば」が運行してから早や1年が経過しようとしています。

この事業は、買い物が困難な方への日常生活の支援はもちろんのこと、買い物をされた後も世間話などで花が咲き、移動販売車が地域コミュニティを運ぶ車両となるよう、定期的に移動販売車連絡協議会を開催して健全な運営をめざすための議論を重ねています。



コープこうべ・小野市・市場地区地域づくり協議会（区長・民生児童委員）との検討会



4月初旬には1周年運行記念イベントが開催されます。



第2回 “いちば” ふるさと 散歩

市場地区の各町で行われている祭りを取り上げ紹介する企画の第2弾です。
市場地区で行われている伝統行事のうち、今回は夏から秋にかけて行われている行事を取り上げました。
(資料提供：小野市立好古館)

大島町東の祇園祭



大島町東の愛宕神社で毎年7月7日、10日、14日に祇園祭が行われます。

その間の土曜日には、老人クラブにより燈籠に火が灯されるほか、カラオケ大会なども行われます。

市場町の地藏盆



市場町の水没者供養碑では、毎年8月24日に地藏盆が行われます。

来迎寺の住職に来てもらい、水没者の供養も兼て法要が行われます。

池尻町の大歳祭



池尻町の大歳神社では、9月上旬に祭りが行われます。

この日は、神社の境内で子ども相撲が行われます。その年に生まれた初参加の男の子は赤い褌をつけ参加します。

榊町の金毘羅祭



榊町の金毘羅神社では、毎年10月上旬に祭りが行われます。

境内に幟や提灯を飾り、境内にある小宮などにも御供えをします。各自お参りを済ませた後、会食を行います。

市場地区現代セミナー

高齢者が地域の指導者として社会参加するため、セミナー等で習得した知識や技術を生かして地域活動や世代間交流を行いました。

講演会4回、管外研修（滋賀県延暦寺外）1回と「いちばふれあいの祭典」にも参加しました。



FURUSATO “美食クラブ”

いちばふれあいの祭典や小野ハミングウェイウォーキングなどで、小野産小麦を使った「ふくほの香ラーメン」は大好評でした。

また、昨年度に引き続き独居高齢者等に心のこもった手づくり料理を提供し、楽しい会話がはずむ昼食会を支援することができました。



市場地区青少年健全育成会

地域社会の中で子どもたちが健全な心身を育むようパトロールや広報活動を実施しました。

育成大会や研修会を開催し、出席された皆さんとの情報の共有化を図りました。



市場「水辺の楽校」推進協議会

いちば自然環境保全隊の方にご指導いただき、春は、「野草を採り、食べ、遊び」、身近にたくさん食べることのできる野草を知り、似ている草花の違いに気づくことができました。

夏は、「山田川で生き物調査、水質検査」を行い、生き物だけでは分からない川の実態を知ることができました。

秋、冬には、ビンゴをしながら生き物や野草を捜し歩き、一年を通じて命をつなげるための工夫や季節ごとに変化する風景の美しさを感じることができました。



道路河川課

東播磨南北道新設工事が進む

兵庫県が施工する東播磨南北道路（東播磨道）は、国道2号加古川バイパス（加古川市）と国道175号（小野市）を結ぶ延長12.1kmの自動車専用道路です。

国道2号加古川バイパスから八幡稲美ランプ間の南工区（延長5.1km）は、平成26年3月の供用後、多くの方が利用されています。

八幡稲美ランプから国道175号間の北工区（延長6.9km）につきましては、平成29年6月に起工記念式典を行い、現在、用地買収のほか、加古川市の下村高架橋付近や三木市の美囊川での橋梁工事が進んでいます。

東播磨道は、「渋滞緩和の道」だけでなく、ヒト・モノの交流を促進させ企業立地と雇用を生み出す「雇用の道」、さらには、“北播磨総合医療センター”と“県立加古川医療センター”、“加古川中央市民病院”これら3つの高度医療機関を1本で結ぶ「命の道」として、東播磨、北播磨の未来を拓（ひら）く道路です。

一日も早い全線開通に向け、引き続き皆さまのご協力をお願いします。

（9月16日開催）



北工区の起工式（鍬入れ）



美囊川周辺の工事の状況



市場中最後の卒業生

私たち市場中最後の卒業生は、デコマキ寿司教室や点描曼荼羅のワークショップ、歴史探訪ツアー等、楽しい企画で元気を発信しています。

地域の皆さんと楽しくコミュニケーションを取り、更なる健康寿命を延ばして行きたいと思えます。気軽に参加してくださいね。



子育て広場「おひさま文庫」

毎週水曜日に絵本の読み聞かせや貸し出しを行っています。また、毎週1回市場こども園（4・5歳児）がお散歩がてら来てくれ、絵本やお話を楽しんでいます。



12月のクリスマス会では、ド・エミーラの美しいトーンチャーム演奏で楽しいひとときを過ごしました。

フェニックスONO



市内で唯一の小学生男子バレーボールクラブです。練習や試合を通して技術の向上と、思いやりや責任感のある児童の育成を図りました。

また、いろいろなお楽しみ会も行い、チーム全員が笑顔で親睦を深めることができました。

気ばらしグループ



参加者（小学生から高齢者まで）の交流を大切にしながら活動しています。

活動内容は、物づくりでプリザーブドフラワーやアートフラワーまた、日本文化・芸術を重んじる創作盆栽等、気軽に短時間で完成できるように指導し、素敵な作品づくりに挑戦してきました。

菊づくり同好会

菊づくり同好会は、今年で5年目を迎え、菊の特性である土づくりや予防、肥料の施肥の時期や開花時期と日照時間との関係がようやく理解できるようになりました。本年度は、菊といえば作家の吉川英治さんが詠まれている「菊づくり咲きほこる日は蔭の人」になれる様な菊をつくってみたいと思っています。



コミュニティ助成事業（宝くじ）で備品購入



（一般財団法人）自治総合センターの社会貢献事業「コミュニティ助成事業」の助成を受け、市場地区地域づくり協議会は、リソグラフ1台、紙折り機1台、パソコン11台を購入しました。

機器の設置場所は、コミセンいちばです。

この機器を活用して地域活性化の情報発信を図ってまいります。



編集後記

皆様のご協力により平成29年度の広報活動が終了いたしました。今後も協議会活動や地域の情報発信に努めてまいりますのでご協力お願いいたします。 [いちば広報・企画部会] 一同